

議員定数等調査検討特別委員会 日程

令和6年3月19日(火)
全員協議会室

- 1 開会宣言

- 2 会議録署名委員の指名

- 3 議 題
 - (1) 議員の総定数について
 - (2) 令和5年度調査活動報告について
 - (3) その他について

- 4 閉会宣言

議員定数等調査検討特別委員会 委員名簿

[期数・年齢順]

区 分	氏 名	備 考
委 員	斉 木 正 一	
	内 田 博 長	
	銀 杏 泰 利	
	興 治 英 夫	
	浜 崎 晋 一	委員長
	市 谷 知 子	
	尾 崎 薫	
	福 田 俊 史	
	野 坂 道 明	副委員長
	島 谷 龍 司	
	浜 田 一 哉	
	川 部 洋	
	鹿 島 功	
	山 川 智 帆	
	前 住 孝 行	
村 上 泰二朗		

《参考》令和5年6月29日の本会議において次のとおり設置することを決定

名 称	付託する調査事件	委員定数
議員定数等調査検討特別委員会	鳥取県議会議員に係る次の事項の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・議員の定数 ・選挙区 ・各選挙区において選挙すべき議員の数 	16名

議員の総定数についての
各会派等の意見

議員定数等調査検討特別委員会における会派意見

県議会自由民主党

▶ 会派意見

- 総定数は3減を基本として検討を進めるべき。
- なお、適正な定数のあり方を検討する上では、一票の格差への配慮や区割りの議論と切り離すことができないことを前提に、早晩「強制合区」もあり得る選挙区については、生活・経済・文化圏を踏まえた必要最小限の合区もやむを得ないものとして、継続して調査検討が必要。

▶ 会派意見の理由

- 前任期での協議・検討においては、県民への周知期間が確保できないことなどからやむを得ず現行どおりとした上で、「定数のあり方」や「区割りのあり方」について改選後には早い時期に検討に着手するよう申し送りされたところであり、本県人口の推移や他都道府県議会の状況などを考慮すれば一定の議員定数削減は不可避。
- 議会のあり方として、県民の意見を汲み上げつつ県政に対する議会のチェック機能や政策提案機能を担保するためには、現行の「4 常任委員会・定数8」体制が現状の適正規模として維持されるべきで、総定数は3減が妥当。
- 定数減に当たっては、一票の格差への配慮や合区など区割りの考え方などを含めて、(上記のとおり) 附帯意見を付すべき。

<参考>

委員会 (令和5年度)	開催回数	R5 年度 予算事業数	R5 年度 報告件数	R6 当初予算の 予備調査時間
総務教育	17 回	延べ 419 事業	135 件	8 時間 15 分
福祉生活病院	17 回	延べ 731 事業	172 件	14 時間 14 分
農林水産商工	17 回	延べ 671 事業	150 件	9 時間 23 分
地域県土警察	18 回	延べ 665 事業	284 件	10 時間 28 分

議員定数等調査検討特別委員会について会派民主の意見

(1) 現行の議員総定数 (35 人) 見直しの是非

見直す

(2) 「見直すべき」とした場合の具体的な定数及びその考え方

具体的な定数：2名減

考え方

①基本的に、議員定数を減らすと、女性議員が出にくくなる等、多様な民意を議会、県政に反映しにくくなるので、削減数については過大にならないようにする。

②国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」によると、令和7（2025）年の議員一人当たりの人口は15,962.575人であり、令和2年度国勢調査人口の議員一人当たりの人口15,812人を上回ることができる。

【令和7（2025）年の議員一人当たりの人口】

鳥取県人口526,765人（令和7（2025）年）÷議員33人=15,962.575

③同推計に基づけば、選挙区への議員定数配分において、行政実例に基づくルールで計算した時に、公職選挙法第15条の8のただし書きによらずに、日野郡に定数1を配分できる。

議員定数の見直しについて

公明党鳥取県議会議員団

(意見)

地域や職域等に応じた住民の多様な利害や意思、少数意見を反映するためにも、定数は減らすべきではない。

しかし、県議会議員の不祥事や人口減少などにより、県民から議員定数を減らすべきとの声がある。議会は県民の理解と合意があつてこそ成り立つのであるから、定数削減はやむを得ない。よって、会派としては1～2の定数削減を提案する。

(その他)

一方、定数削減によって1議員当たりの人口格差(1票の格差)が2.5倍を上回るという試算がある。また県民の多様な意見を反映することも必要である。そのために1人区の解消、並びに合区を進めて複数人区を増やし、一票の格差拡大を止め、県民の多様な意思をより反映できるようにすべきである。

議員定数等調査検討特別委員会持ち帰り事項(無所属)

1 現行の議員総定数(35人)見直しの是非

【見直し必要】・・・山川議員	
【見直し不要】・・・市谷議員、福浜議員、松田議員、前住議員	
○市谷議員	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治法改定で、人口区分に応じた議員数の上限が撤廃されたとはいえ、鳥取県の人口レベルでは、本来の上限である40人の議員が必要である。 ・議員は住民の意見を行政に反映させる鏡であり、また当該自治体の意思決定や監視機能を果たす上で、分野ごとに分けた4つの専門の各常任委員会で議論がしっかりできるだけの議員数が必要である。 ・また、鳥取県は、各選挙区内の面積も広く、人口が減少すればするほど、地域の課題を反映させる議員の役割はより一層重要となる。減らせばよいというものではない。
○福浜議員	<ul style="list-style-type: none"> ・「参議院での合区」と同様に、人口減による定数減は、慎重になるべき。 ・定数減が議会自体の持つ力を(特に民意反映)削ぐ一面もあることを考慮すべき。
○前住議員	<ul style="list-style-type: none"> ・議員が減るということは、政治へ声を届けにくくなるということで、住民にとってプラスに働くことはない。 ・人口で考えないといけませんが、投票率・面積も考慮に入れていく時代になってきていると考える。 ・中山間地域の声が届きにくくなることが予想される。

(その他:選挙区見直しに係る意見)

議員	内容
○市谷議員	<ul style="list-style-type: none"> ・定数1人区の解消の検討が必要である。 ▶定数1人区は、一人しか当選できないため、選挙になった場合、「死票」が多くなり、多様な民意が反映できない。その結果、住民の選挙への参画意欲が損なわれて、無投票が増え、より一層民意が反映しづらくなっている。 ▶定数1人区の解消のための手立てをとることが必要と考えるが、それを2人区にすれば、1票の格差が拡大することになるため、一部合区で対応することも検討が必要になると考える。 ・議論の進め方は、選挙区と定数をセットで検討する必要がある。 ▶定数1人区の解消の議論を全面に据えた場合、選挙区のあり方を考えることが必要となり、選挙区と定数をセットで議論することが必要になる。
○福浜議員	<ul style="list-style-type: none"> ・「1人区」の選挙区については「無投票」による政治関心度を低下させる要因があるため、選挙区再編の議論が必要であると考えます。

2 「見直すべき」とした場合の具体的な定数及びその考え方

議員	具体的な定数及びその考え方
○山川議員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な定数:27名 ・定数の考え方:3常任委員会×9名=27名

R5.4 月 全国議長会調査

令和5年統一地方選挙(41道府県で実施)
における無投票当選に関する調査結果

令和5年統一地方選挙(41道府県で実施)における無投票当選に関する調査結果

1 選挙区総数について

	1 人 区	2 人 区	3 人 区	4 人 区	5 人 区	6 人 区	7 人 区	8 人 区	9 人 区	10 人 区	11 人 区	12 人 区	13 人 区	14 人 区	15 人 区	16 人 区	17 人 区	合計	議員 定数
北海道	16	15	9	4	1	1												46	100
青森	7	2	3	1		1		1		1								16	48
秋田	5	2	4	2								1						14	41
山形	6	6	2		2				1									17	43
神奈川	12	17	14	3	1													47	105
千葉	11	20	5	1	1	1	2											41	95
栃木	4	5	2	3	1								1					16	50
埼玉	25	17	5	3			1											51	93
群馬	7	5	2		2			1	1									18	50
山梨	6	5	4						1									16	37
長野	9	9		3			1			1								23	57
新潟	11	11	3		1	1												27	53
愛知	25	22	3	1	4													55	102
三重	1	7	1	4			2											15	48
静岡	14	12	3	4	1													34	68
岐阜	17	5	2	1					1									26	46
富山	2	7	2				1			1								13	40
石川	5	6		2												1		14	41
福井	5	1	3	1	1							1						12	37
京都	6	10	6		2	1												25	60
大阪	36	11	3	3														53	79
兵庫	18	7	8	2			2	1										38	86
奈良	4	7	2	2							1							16	43
和歌山	4	4	5												1			14	42
滋賀	1	5	2	3	1					1								13	44
広島	8	2	8	2	2					1								23	64
岡山	8	5	1	3				1						1				19	55
鳥取	2	3	2						1			1						9	35
島根	5	4	1						1		1							12	36
山口	5	4		1	3	1			1									15	47
香川	3	5	3	1											1			13	41
徳島	2	6	2	2						1								13	38
高知	10	6													1			17	37
愛媛	4	3	1	3		1										1		13	47
福岡	17	16	8	1	2													44	87
大分	7	3	4		1								1					16	43
佐賀	3	7	1			1					1							13	37
長崎	8	4	1	1					1					1				16	46
宮崎	7	3	1		1	1						1						14	39
熊本	9	8	1	1	1							1						21	49
鹿児島	11	6	1	2													1	21	51
合計	366	303	128	60	28	9	9	4	8	4	5	5	2	2	3	2	1	939	2,260
前回統一選	372	300	126	62	31	9	9	4	8	4	5	5	2	2	3	2	1	945	2,277

2 無投票の選挙区数について

	1 人 区	2 人 区	3 人 区	4 人 区	5 人 区	6 人 区	7 人 区	8 人 区	9 人 区	10 人 区	11 人 区	12 人 区	13 人 区	14 人 区	15 人 区	16 人 区	17 人 区	合計	無投票 選挙区 の割合
北海道	10	8		1														19	41.3%
青森	3		1															4	25.0%
秋田	5																	5	35.7%
山形	5	4																9	52.9%
神奈川	7	4	1															12	25.5%
千葉	6	8	1															15	36.6%
栃木	1	3																4	25.0%
埼玉	10	5	1															16	31.4%
群馬	6	2			1													9	50.0%
山梨	2	3	2						1									8	50.0%
長野	5	6																11	47.8%
新潟	6	6	1															13	48.1%
愛知	16	7			1													24	43.6%
三重	1	5	1															7	46.7%
静岡	8	5	1	1														15	44.1%
岐阜	15	2																17	65.4%
富山	1	2																3	23.1%
石川	1	1		1														3	21.4%
福井	2	1	1															4	33.3%
京都	1	3	1															5	20.0%
大阪	7	4																11	20.8%
兵庫	7	1																8	21.1%
奈良	1	2																3	18.8%
和歌山	2	3	4															9	64.3%
滋賀		2																2	15.4%
広島	7		2	1						1								11	47.8%
岡山	6	2	1	1														10	52.6%
鳥取	2	1																3	33.3%
島根	3	2																5	41.7%
山口	2	3																5	33.3%
香川	1	2	1															4	30.8%
徳島	1	5	1	1														8	61.5%
高知	6	3																9	52.9%
愛媛	4	2																6	46.2%
福岡	8	5	1															14	31.8%
大分	4	2	1															7	43.8%
佐賀	3	3	1															7	53.8%
長崎	3	1		1														5	31.3%
宮崎	3																	3	21.4%
熊本	5	2	1															8	38.1%
鹿児島	4	3																7	33.3%
合計	190	123	24	7	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	348	37.1%
前回統一選	204	116	36	8	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	371	39.3%

3-1 無投票の当選者数について

	1 人 区	2 人 区	3 人 区	4 人 区	5 人 区	6 人 区	7 人 区	8 人 区	9 人 区	10 人 区	11 人 区	12 人 区	13 人 区	14 人 区	15 人 区	16 人 区	17 人 区	合計	無投票 当選者 の割合
北海道	10	16		4														30	30.0%
青森	3		3															6	12.5%
秋田	5																	5	12.2%
山形	5	8																13	30.2%
神奈川	7	8	3															18	17.1%
千葉	6	16	3															25	26.3%
栃木	1	6																7	14.0%
埼玉	10	10	3															23	24.7%
群馬	6	4			5													15	30.0%
山梨	2	6	6						9									23	62.2%
長野	5	12																17	29.8%
新潟	6	12	3															21	39.6%
愛知	16	14			5													35	34.3%
三重	1	10	3															14	29.2%
静岡	8	10	3	4														25	36.8%
岐阜	15	4																19	41.3%
富山	1	4																5	12.5%
石川	1	2		4														7	17.1%
福井	2	2	3															7	18.9%
京都	1	6	3															10	16.7%
大阪	7	8																15	19.0%
兵庫	7	2																9	10.5%
奈良	1	4																5	11.6%
和歌山	2	6	12															20	47.6%
滋賀		4																4	9.1%
広島	7		6	4					10									27	42.2%
岡山	6	4	3	4														17	30.9%
鳥取	2	2																4	11.4%
島根	3	4																7	19.4%
山口	2	6																8	17.0%
香川	1	4	3															8	19.5%
徳島	1	10	3	4														18	47.4%
高知	6	6																12	32.4%
愛媛	4	4																8	17.0%
福岡	8	10	3															21	24.1%
大分	4	4	3															11	25.6%
佐賀	3	6	3															12	32.4%
長崎	3	2		4														9	19.6%
宮崎	3																	3	7.7%
熊本	5	4	3															12	24.5%
鹿児島	4	6																10	19.6%
合計	190	246	72	28	10	0	0	0	9	10	0	0	0	0	0	0	0	565	25.0%
前回統一選	204	232	108	32	30	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	612	26.9%

3-2 選挙区定数別の当選者数に占める無投票当選者数の割合について

	1人区	2人区	3人区	4人区	5人区	6人区以上	無投票 当選者 の割合
北海道	62.5%	53.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	30.0%
青森	42.9%	0.0%	33.3%	0.0%		0.0%	12.5%
秋田	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	12.2%
山形	83.3%	66.7%	0.0%		0.0%	0.0%	30.2%
神奈川	58.3%	23.5%	7.1%	0.0%	0.0%		17.1%
千葉	54.5%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%
栃木	25.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.0%
埼玉	40.0%	29.4%	20.0%	0.0%		0.0%	24.7%
群馬	85.7%	40.0%	0.0%		50.0%	0.0%	30.0%
山梨	33.3%	60.0%	50.0%			100.0%	62.2%
長野	55.6%	66.7%		0.0%		0.0%	29.8%
新潟	54.5%	54.5%	33.3%		0.0%	0.0%	39.6%
愛知	64.0%	31.8%	0.0%	0.0%	25.0%		34.3%
三重	100.0%	71.4%	100.0%	0.0%		0.0%	29.2%
静岡	57.1%	41.7%	33.3%	25.0%	0.0%		36.8%
岐阜	88.2%	40.0%	0.0%	0.0%		0.0%	41.3%
富山	50.0%	28.6%	0.0%			0.0%	12.5%
石川	20.0%	16.7%		50.0%		0.0%	17.1%
福井	40.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	18.9%
京都	16.7%	30.0%	16.7%		0.0%	0.0%	16.7%
大阪	19.4%	36.4%	0.0%	0.0%			19.0%
兵庫	38.9%	14.3%	0.0%	0.0%		0.0%	10.5%
奈良	25.0%	28.6%	0.0%	0.0%		0.0%	11.6%
和歌山	50.0%	75.0%	80.0%			0.0%	47.6%
滋賀	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
広島	87.5%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	100.0%	42.2%
岡山	75.0%	40.0%	100.0%	33.3%		0.0%	30.9%
鳥取	100.0%	33.3%	0.0%			0.0%	11.4%
島根	60.0%	50.0%	0.0%			0.0%	19.4%
山口	40.0%	75.0%		0.0%	0.0%	0.0%	17.0%
香川	33.3%	40.0%	33.3%	0.0%		0.0%	19.5%
徳島	50.0%	83.3%	50.0%	50.0%		0.0%	47.4%
高知	60.0%	50.0%				0.0%	32.4%
愛媛	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%		0.0%	17.0%
福岡	47.1%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%		24.1%
大分	57.1%	66.7%	25.0%		0.0%	0.0%	25.6%
佐賀	100.0%	42.9%	100.0%			0.0%	32.4%
長崎	37.5%	25.0%	0.0%	100.0%		0.0%	19.6%
宮崎	42.9%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	7.7%
熊本	55.6%	25.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24.5%
鹿児島	36.4%	50.0%	0.0%	0.0%		0.0%	19.6%
合計	51.9%	40.6%	18.8%	11.7%	7.1%	3.6%	25.0%
前回統一選	54.8%	38.7%	28.6%	12.9%	19.4%	1.1%	26.9%